

## 1-2 日本文化の象徴である歴史都市・京都を「電線のない美しいまち」とするための無電柱化の早期推進 (国土交通省)

京都の景観は、山紫水明の地に数多くの歴史的建造物や風情ある町並みが、1200年を超える悠久の時の中で融合し、世界有数の優れた景観として今に受け継がれてきました。

しかしながら、電線・電柱がひしめく「通り」は、歴史都市・京都の伝統と趣のある景観を大きく阻害しています。

このため京都市では、とりわけ歴史的景観に配慮すべき伝統的建造物群保存地区や世界遺産周辺において無電柱化を進めていますが、京都市や電線管理者の費用負担が多額に上るなどの課題があり、進ちょくを妨げています。

日本文化の象徴である歴史都市・京都の優れた景観を「国の宝」として受け継いでいくため、次のとおり提案・要望します。

### 提案事項

- 1 景観に配慮すべき地区において無電柱化を実施する場合
  - (1) 幹線道路に比べて高額となる整備費に配慮した財政措置  
(補助率を1/2から引き上げ)
  - (2) 石畳などにグレードアップする舗装等に対する財政措置
  - (3) 電線管理者に無電柱化の合意を義務付ける法制度の創設とそれに併せた電線管理者に対する補助制度の創設
- 2 工事完了後の速やかな電柱撤去を促進するための補助制度の創設
- 3 国補助金を受けて整備した道路において無電柱化を実施する場合、補助金適正化法に規定される耐用年数(10年)内においても実施可能とする柔軟な対応
- 4 無電柱化の促進、景観の向上や歩行空間の確保に資するコンパクトな地上機器の開発等に対する補助制度の創設

### 要望事項

#### 国直轄事業における無電柱化事業の推進

主な要望先：国土交通省（道路局路政課，国道・防災課，地方道・環境課）

京都市の担当課：建設局 道路建設部 道路計画課長 横木孝司 TEL 075-222-3580

建設局 道路建設部 道路環境整備課長 畑中 功 TEL 075-222-3570

# 伝統と趣のある景観を阻害する電線・電柱

## 現状

多くの観光客が訪れる  
清水寺周辺



(清水坂)

世界遺産周辺地域



(上賀茂神社の社家町周辺)

無電柱化の取組例



(花見小路 施工前)



(花見小路 施工後)

## 課題

### 無電柱化進捗

無電柱化の進捗状況 ~道路延長で見た場合と管路延長で見た場合別~ (単位:km)

管理者	京都市			国土交通省(直轄国道)			計	整備率
	幹線系	景観系	小計	幹線系	景観系	小計		
道路	総延長		3,508			50	3,558	1.46%
	無電柱化済	26.1	6.0	32.1	20.0	0.0	20.0	
管路	総延長		4,145			100	4,245	2.19%
	無電柱化済	46.7	6.4	53.1	40.0	0.0	40.0	

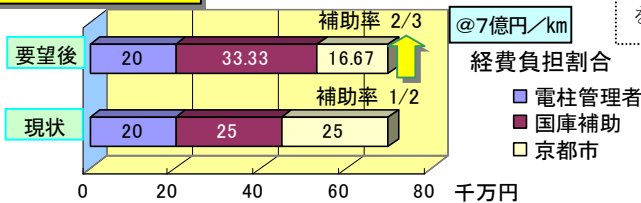
### グレードアップ舗装

@7億円/km

石畳舗装  
(花見小路石畳同等  
インジェクト工法)

@11億円/km

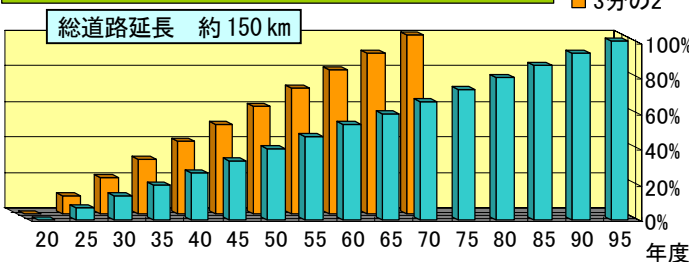
### 無電柱化整備事業



※管路延長

幅員の広い道路においては道路の両側に電線を通す共同溝を埋設するため、実際に地中に埋設する管の延長を表す。

### 重点整備対象地域無電柱化率進捗予測



### 電柱未撤去例

地中化工事完了

2~3年 → 電柱撤去



(四条通)



(烏丸通)

## 提案・要望

補助率の引き上げ  
電線管理者への無電柱化義務付け  
補助制度の創設  
グレードアップ舗装等  
電線管理者への支援  
工事完了後の電柱撤去  
コンパクトな地上機器の開発  
補助金適正化法の柔軟な対応

景観の向上  
安全で快適な歩行空間の確保  
都市災害の防止とライフラインの安全性・信頼性の向上  
高度情報化社会への対応

日本文化の象徴である歴史都市・京都を  
「電線のない美しいまち」とするための無電柱化  
の早期推進